

多くの村民から「今年には、客数も売上も最低だ！」との悲鳴を聞きます。深刻な観光の行きづまりから脱するためには、村民が一丸となり原点に帰って、行政(公)が積極的役割を果たさなければ

「四季新鮮 出会い感動 山中湖」です。主役は、勿論「富士山、湖、里山」の雄大で美しい自然です。そして、村民も観光事業者も「感動を与え、満足していただく」ための、重要なスタッフなのです。ところが、主役の魅力を台無しにする人工的な景観、無礼な接客、公営駐車場の不愉快な思い、観光施設への不信感などがあった場合、観客(観光客)は二度とこの舞台(山中湖)を観に来ることはないでしょう。

さて、山中湖村のキャッチフレーズは「四季新鮮 出会い感動 山中湖」です。主役は、勿論「富士山、湖、里山」の雄大で美しい自然です。そして、村民も観光事業者も「感動を与え、満足していただく」ための、重要なスタッフなのです。ところが、主役の魅力を台無しにする人工的な景観、無礼な接客、公営駐車場の不愉快な思い、観光施設への不信感などがあった場合、観客(観光客)は二度とこの舞台(山中湖)を観に来ることはないでしょう。

## キーワードは「感動を与え、満足していただくこと」

これからの山中湖のために①

夏の観光シーズンの峠を越え、今年の山中湖の実績はいかがでしたか？先日、「コンサートやイベントなどで全国的に活躍している方と話す機会があり、強く印象に残ったことがあります。それは、「常にスタッフ全員が一丸となって『お客様に感動を与え、満足して帰っていただく』ことに全力を尽くす」ということです。

## 16年度「財政状況の公表」について解説

これからの山中湖のために④

「広報山中湖8月号」に平成16年度末(17年3月31日締め)の財政状況が公表されました。議会による決算認定(通常は12月定例議会)を経て正式なものとなりますが、公表された数値を前提に注目点を解説します。

### 注目点① 平成15年度との比較 (単位:千円)

比較の項目	平成15年度	平成16年度	増・減額
税収(村税)	2,314,334	2,624,200	309,866 増
借金残高(起債残高)	10,610,397	9,981,302	629,095 減
(一人当換算)	1,780	1,674	106 減
預金残高(基金現在高)	2,082,179	1,884,474	197,705 減
(一人当換算)	349	316	33 減

また、歳出について内容を精査すれば、税金の使われ方が見えてきます。

### 注目点② 一般会計・歳出科目の隠れた明細 (単位:千円)

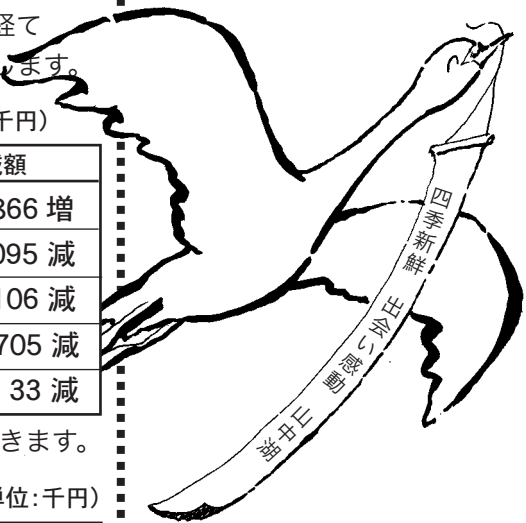
科目	支出総額	内訳の注目点	何に使われたか
民生費	455,319	107,217	国民健康保険特別会計の不足分に繰出し
衛生費	468,585	75,472	簡易水道特別会計の借金返済分に繰出し
商工費	289,921	168,177	観光施設特別会計の借金返済分に繰出し
"		5,000	観光協会へ補助金
"		3,326	広告宣伝事業費
土木費	994,748	343,337	下水道特別会計の借金返済分に繰出し
"		70,392	下水道特別会計の事業不足分に繰出し
"		635,741	調整池(ダム)及び一の堀排水路工事費
教育費	1,318,780	1,025,549	交流プラザ建設工事費
"		97,233	小・中学校費(職員人件費を含む)
"		64,046	文学の森、情報ライブラリー維持管理費
その他	606,183	606,183	主に「公債費」。一般会計の借金返済

- 内訳注目点の額は、16年度予算から算出したもの
- 各項目ごとに、担当課の人員費が計上されている
- 一般会計からの実質借金返済合計は、11億9300万円で、歳出総額の25%に相当し、「繰出し金」の名で隠れている

果たしてこれが、村民本位、観光重視の税金の使われ方か否かを、納税者のあなた自身に、もう一度しっかり確かめてほしいと

上欄の「財政状況の公表」の解説でも明らかとなり、村民の血税が、ムダというべき工事費には湯水の如く支出されております。反面、職員の仕事効率や来庁者へのサービス、また教育の現場に対しては、「金がない」という理由で我慢や不便を強いられています。今後、このような不合理を皆さんと共に改善し、公平な未来に

言いかえれば「行政側にそれだけの『自覚と能力』があるのか否か?」が、今後の山中湖村の命運を決定するといっても過言ではありません。当然ながら議員および議会の責任も、一層重大であると思います。



なりませぬ。言いかえれば「行政側にそれだけの『自覚と能力』があるのか否か?」が、今後の山中湖村の命運を決定するといっても過言ではありません。当然ながら議員および議会の責任も、一層重大であると思います。

## 山中湖村も「景観行政団体」に移行せよ

これからの山中湖のために②

6月定例議会で、国の「景観法」制定施行により、山中湖村の「景観」に対する取り組みと景観整備や条例制定について一般質問をしましたが、8月18日の山梨日日新聞に「9市町村景観行政団体に」という記事が掲載されてきました。「景観行政団体」になれば、自治体独自に景観計画を策定し、独自に建築物の高さや屋外広告物のデザイン基準などを策定でき、また、違反者への罰則規定を設けることもできるなど、従来の景観関連条例よりも厳しい措置がとれるという画期的なものです。

「景観行政団体」になれば、自治体独自に景観計画を策定し、独自に建築物の高さや屋外広告物のデザイン基準などを策定でき、また、違反者への罰則規定を設けることもできるなど、従来の景観関連条例よりも厳しい措置がとれるという画期的なものです。

記事によれば、県が「景観行政団体」への移行に同意したのは、八ヶ岳高原の自然景観や市内の甲州街道周辺の歴史景観の保全を目指す北杜市、ブドウ畑や農村景観の保全を目指す勝沼町などで、その他に富士河口湖町、早川町、小菅村を含む9市町村です。

全国的には京都府宇治市、日光市、鎌倉市など46市町があり(8月1日現在)、我が山中湖村はまだ「景観行政団体」移行への意思決定を示していません。一般質問でも指摘しましたが、観光が沈滞している現状を直視し、山中湖村の観光再生のためには、「景観行政団体」への移行は何よりも必要であり、湖周辺を中心とした景観整備の計画や施策の具体的段階に入るべきだと信じます。

## 役場庁舎の冷房機がダウンのまま!

不公平な未来へ

これからの山中湖のために③

役場庁舎内の冷房機がダウンし、今年の夏はとうとうクーラー無しとのことでした。理由は、単に修理費の資金がないからだといえます。役場幹部職員によると「我々のことは一番最後でいいんです」と気の毒な話をしていますが、学校関係の施設や用品・用具についても「金がない」という理由で、設備の欠損や不都合が生じていると聞きます。

樋口は、村の財政問題を軸に論じていますが、当局が不交付団体であること理由に財政豊かな自治体を自慢するならば、村民の暮らしのためにお金を使うべきであり、しかも、その資金が最大限村内を循環する経済効果の原則を用いるよう提言しているのです。

「これからの山中湖を考える会」を、高村文雄新議員と共に定例化していく予定です。

○9月9日(金)夜7:00~9:00・山中湖情報創造館

○テーマ 山中湖の景観整備を考えよう!

【お知らせ】9月は、定例議会が開催される予定月です。日程は議会事務局(62-3166)または樋口までお問い合わせ下さい